

# 統計調査ニュース

平成20年（2008）9月

No. 262



## 見えてくる 日本の暮らし 住まいから

わたしも、広報活動を通じて「平成20年住宅・土地統計調査」に協力させていただきます。

タレント 友近（ともちか）

10月1日現在で行われる、平成20年住宅・土地統計調査の広報イメージキャラクターとして、わたし友近が、調査のお手伝いをさせていただきますこととなりました。

先日、テレビCMやポスターの撮影があり、わたしが調査員役となって、調査世帯のお宅に訪問するといった内容で、いろいろな表情やアクションを交えて、楽しく演じさせていただきました。

その時、統計局の御担当者の方から、この調査について、いろいろお聞きすることができました。住宅・土地統計調査は5年ごとに行われる調査で、高齢社会に合わせた住環境のこと、耐震性・防火・防犯などのこと、リフォームのことなど、日本の「今」を、住

まいという視点から調査するそうで、とても意義のある調査だということ、改めて知りました。

今回の広報コンセプトは、「調査票から、まちの未来が見えてくる」。調査の結果は国の施策などに役立てられるので、一つ一つの調査票がとても大切になります。

調査の最前線で御活躍される調査員の方々の御協力があって始めて、良い調査に、そして良い未来につなげることができるんだなと、感慨深く思っております。

わたしも、広報活動を通じて、皆さんとともに、住宅・土地統計調査に協力させていただきます。

よろしくお願いします！

友近です。

あなたの住まいのことが、まちのこれからは役立つんです。

ご存知でした？

調査票から、まちの未来が見えてくる。

平成20年10月1日は、

住宅・土地統計調査。

調査員がお伺いします。

よろしくお願いします。(ラジオCM)



### 目次

見えてくる 日本の暮らし 住まいから ……………1	「平成20年度統計指導者講習会」の開催 ……………7
平成20年住宅・土地統計調査の実施に向けて ……………2	子ども霞が関見学デー参加行事
平成19年就業構造基本調査の結果から ……………5	「めざせ！データ調べの達人」を開設!! ……………8
10月18日は「統計の日」、	中核市発とうけい通信④ ……………9
全国で関連行事が開催されます。 ……………6	

## 平成20年住宅・土地統計調査の実施に向けて

# 調査結果からみる わたしたちの住まいの様子

### — 前回調査の結果から④ —

#### 高年齢者のいる世帯の居住状況

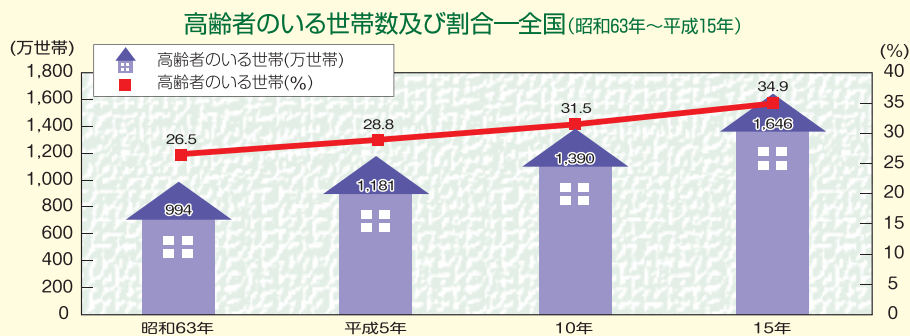
高齢者等に配慮した住宅の設備状況を明らかにします

人口の高齢化に伴い、敷居の段差解消や手すりの設置など、高齢者等のための設備を充実させる“人にやさしい住宅”の整備が強く求められています。

最近では、建て替えや増改築時に高齢者等のための設備を施した住宅ばかりでなく、賃貸住宅や建売住宅でもあらかじめこのような設備を備えた住宅が増えてきています。こうした動きを含めて、住宅におけるバリアフリー化の実態がわかります。

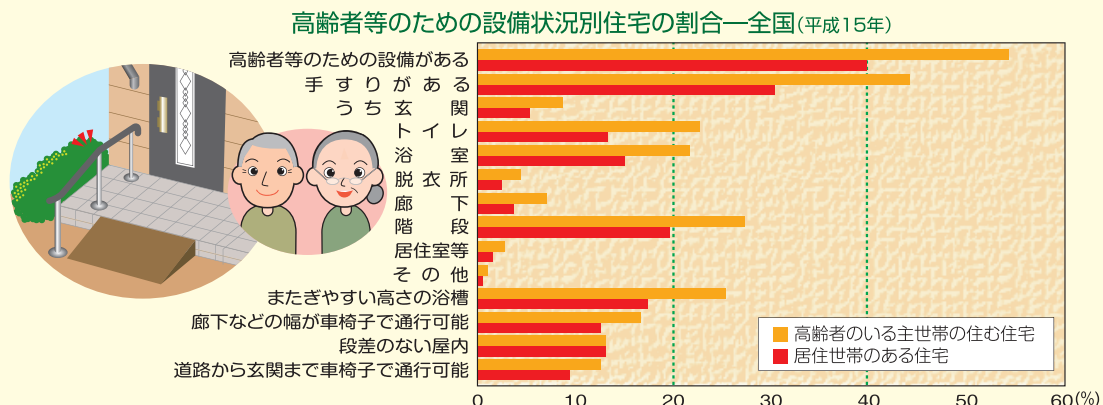
#### ★高齢者のいる世帯は引き続き増加

平成15年調査では高齢者（65歳以上）のいる世帯は1646万世帯で、全世帯の34.9%を占めています。高齢者のいる世帯は、昭和63年には994万世帯（26.5%）でしたが、平成5年に初めて1000万世帯を超え、10年から15年では256万世帯（18.3%）の増加となり、世帯全体の増加率6.7%の2.7倍となっており、急速に高齢化が進行していることがわかります。



#### ★高齢者のいる世帯が住む住宅の5割は高齢者等に配慮した設備を持つ

平成15年調査では、高齢者のいる主世帯が住む住宅は1641万戸で、そのうち高齢者等のための設備のある住宅は891万戸（54.3%）となっています。設備状況別の割合をみると、「手すりがある」44.1%、「またぎやすい高さの浴槽」25.3%、「廊下などの幅が車椅子で通行可能」16.7%、「段差のない屋内」13.2%、「道路から玄関まで車椅子で通行可能」12.7%となっています。

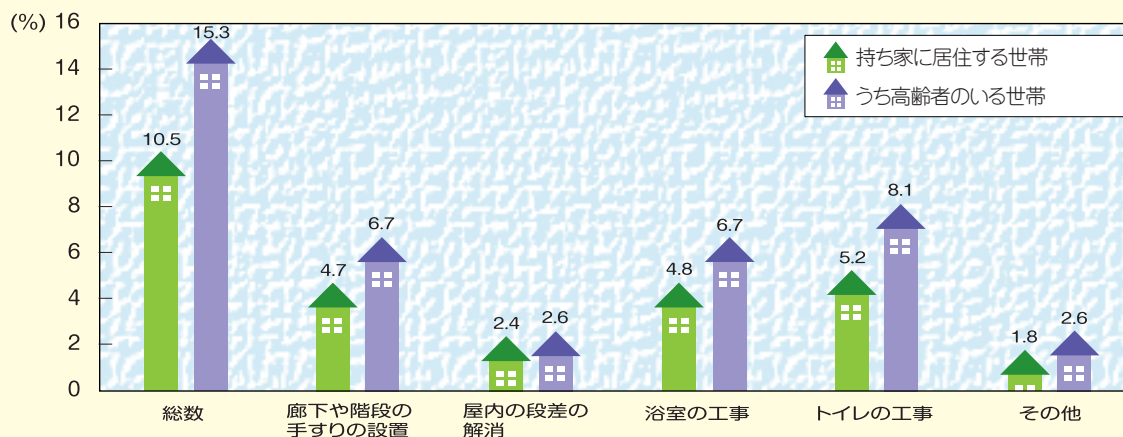


### ★高齢者に配慮した設備工事はトイレ、廊下や階段の手すりの設置、浴室が多い

持ち家に住む高齢者がいる世帯について、平成11年1月以降の高齢者等のための設備工事の状況を見てみると、「工事した」は211万世帯で、全体の15.3%となっています。これは、持ち家全体の10.5%に比べ高くなっています。

この工事の内訳をみると、「トイレの工事」が8.1%、「廊下や階段の手すりの設置」が6.7%、「浴室の工事」が6.7%、「屋内の段差の解消」が2.6%となっています。いずれも持ち家全体に比べ高い割合を示しています。

高齢者等のための設備の工事別持ち家に居住する高齢者のいる世帯の割合—全国（平成15年）



## 住環境

わたしたちの住生活において、安全・快適・便利さなど住環境は大切なものです。

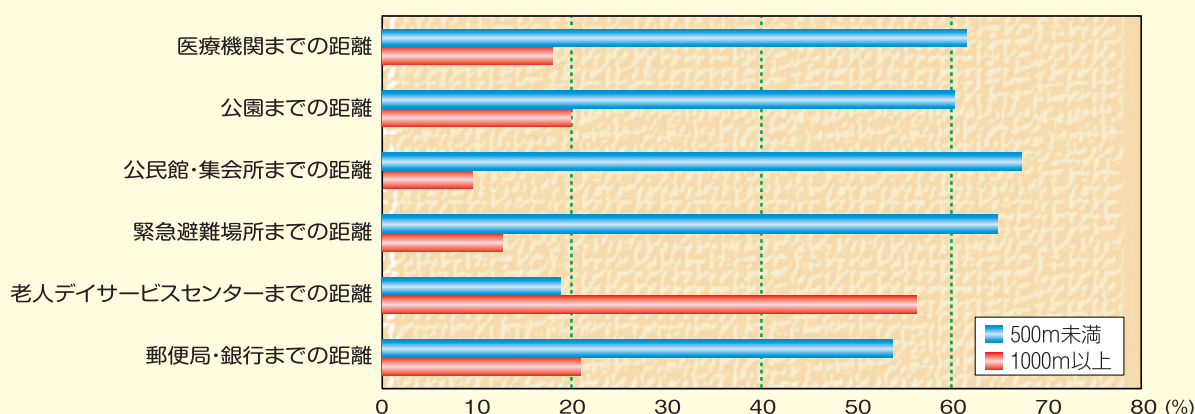
毎日の生活に欠かすことができない医療機関、郵便局や銀行、公園までの距離といった住環境の指標についても、この調査で明らかにします。

### ★比較的離れている老人デイサービスセンター

「医療機関」、「公園」、「公民館・集会所」、「緊急避難場所」が住宅から500m未満にある住宅は全体の6割以上あり、また、「郵便局・銀行」についても5割を超えています。

一方、「老人デイサービスセンター」は1000m以上の割合が56.3%と高く、比較的住宅から離れていることがわかります。

最寄りの生活関連施設等の距離別世帯の割合—全国（平成15年）



# 平成20年住宅・土地統計調査ホームページの紹介

平成20年住宅・土地統計調査の広報ホームページを新たに開設しました。  
 今回は、友達さんを広報キャラクターとして新たに開設した平成20年住宅・土地統計調査HP（ホームページ）の紹介をします。  
 このHPは、平成20年住宅・土地統計調査のはなし（パンフレット）、調査の概要、前回調査の結果とテレビCM、ラジオCM、ポスター、標語などの紹介をしています。  
 URLは、<http://www.stat.go.jp/data/jyutaku/2008/index.htm>です。是非アクセスしてください。



# 平成19年就業構造基本調査の結果から

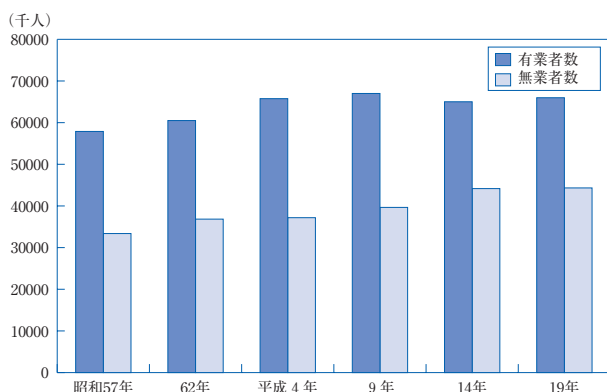
総務省統計局では、就業構造基本調査を平成19年10月に実施し、その結果を7月3日に公表しました。以下、調査結果の概要を紹介します。

## 1 有業者は96万8千人増加、女性が82万7千人増加

平成19年10月1日現在の15歳以上人口（1億1030万2千人）をふだん就業状態別にみると、有業者は6597万8千人、無業者は4432万4千人となりました。これを平成14年と比べると、有業者は96万8千人（1.5%）の増加、無業者は15万9千人（0.4%）の増加となっています。（図1）

有業者を男女別にみると、男性が3817万5千人、女性が2780万3千人となっており、平成14年と比べ、男性は14万1千人（0.4%）の増加、女性は82万7千人（3.1%）の増加となり、女性の増加が男性を大きく上回っています。

図1 有業者数及び無業者数の推移  
（昭和57年～平成19年）



## 2 男性の「60～64歳」で有業率が7.2ポイント上昇

有業率（人口に占める有業者の割合）を年齢階級別にみると、男性は「25～29歳」がほぼ9割、30歳から59歳までの各年齢階級で9割を超えています。平成14年と比べると、「60～64歳」が65.8%から73.0%と、7.2ポイントの大きな上昇となっています。

女性は、「30～34歳」（63.5%）及び「35～39歳」（64.6%）の30歳代を底とするM字型を示しています。平成14年と比べると、「15～19歳」及び「75歳以上」を除くすべての年齢階級で上昇しており、特に「30～34歳」では6.7ポイント、「25～29歳」では4.8ポイント、「35～39歳」では3.5ポイントの上昇となっています。また、「60～64歳」でも4.0ポイント上昇しています。（表1）

表1 男女、年齢階級別有業率  
（平成14年、19年）

男女	男			女		
	平成19年	平成14年	増減	平成19年	平成14年	増減
総数	71.6	72.0	-0.4	48.8	47.9	0.9
15～19歳	16.5	16.7	-0.2	17.3	17.3	0.0
20～24	66.4	65.2	1.2	68.4	67.1	1.3
25～29	89.8	89.7	0.1	73.5	68.7	4.8
30～34	93.4	92.9	0.5	63.5	56.8	6.7
35～39	94.4	94.4	0.0	64.6	61.1	3.5
40～44	94.6	94.7	-0.1	71.1	69.4	1.7
45～49	94.5	93.9	0.6	74.6	71.5	3.1
50～54	93.2	92.6	0.6	70.9	67.0	3.9
55～59	90.4	89.2	1.2	61.5	58.3	3.2
60～64	73.0	65.8	7.2	43.5	39.5	4.0
65～69	50.0	48.8	1.2	28.1	25.8	2.3
70～74	33.4	33.4	0.0	17.7	16.9	0.8
75歳以上	18.0	19.1	-1.1	6.7	6.9	-0.2
(再掲) 15～64歳	82.7	80.9	1.8	61.7	58.5	3.2

## 3 有業者は「医療、福祉」で大幅に増加

有業者を産業大分類別にみると、「製造業」が1162万3千人（有業者に占める割合17.6%）と最も多く、次いで「卸売・小売業」が1145万7千人（同17.4%）、「サービス業（他に分類されないもの）」が864万人（同13.1%）などとなっています。

平成14年と比べると、「医療、福祉」が106万6千人増と大幅に増加し、次いで「情報通信業」が48万9千人増となっています。一方、「建設業」（61万6千人減）、「製造業」（57万9千人減）などが減少しています。（表2）

表2 産業（大分類）別有業者数及び割合  
（平成14年、19年）

産業	実数			割合		
	平成19年	平成14年	増減	平成19年	平成14年	増減
総数	65,977.5	65,009.3	968.2	100.0	100.0	-
農業	2,481.1	2,703.7	-222.6	3.8	4.2	-0.4
林業	49.9	58.5	-8.6	0.1	0.1	0.0
漁業	218.4	265.5	-47.1	0.3	0.4	-0.1
鉱業	29.9	40.1	-10.2	0.0	0.1	-0.1
建設業	5,470.5	6,086.1	-615.6	8.3	9.4	-1.1
製造業	11,623.4	12,202.0	-578.6	17.6	18.8	-1.2
電気・ガス・熱供給・水道業	377.7	376.8	0.9	0.6	0.6	0.0
情報通信業	2,255.5	1,766.1	489.4	3.4	2.7	0.7
運輸業	3,269.9	3,327.3	-57.4	5.0	5.1	-0.1
卸売・小売業	11,457.2	11,699.2	-242.0	17.4	18.0	-0.6
金融・保険業	1,714.3	1,781.3	-67.0	2.6	2.7	-0.1
不動産業	1,048.3	916.2	132.1	1.6	1.4	0.2
飲食店、宿泊業	3,479.8	3,632.0	-152.2	5.3	5.6	-0.3
医療、福祉	5,957.6	4,891.7	1,065.9	9.0	7.5	1.5
教育、学習支援業	2,977.3	2,826.4	150.9	4.5	4.3	0.2
複合サービス事業	512.2	769.2	-257.0	0.8	1.2	-0.4
サービス業（他に分類されないもの）	8,640.0	8,460.2	179.8	13.1	13.0	0.1
公務（他に分類されないもの）	2,184.7	2,174.0	10.7	3.3	3.3	0.0

注）労働者派遣事業所の派遣社員は、派遣先の事業所の産業分類によっている。

# 10月18日は「統計の日」、全国で関連行事が開催されます。

総務省政策統括官（統計基準担当）では、関係府省、地方公共団体等と連携し、「統計の日」（10月18日）を中心として、国民の皆さんに統計の重要性や統計調査への協力を訴えるための行事を実施します。

## 【統計データ・グラフィフェア】

東京都新宿区の「新宿駅西口広場イベントコーナー」において平成20年10月11日（土）、12日（日）、13日（月）の3日間開催します。

総務省が後援している統計グラフ全国コンクールの入選作品等を展示するほか、新統計法の紹介、各種統計関係資料の展示、統計関連パソコンソフトのデモ等を実施する予定です。（総務省、東京都及び（財）全国統計協会連合会主催、入場無料）

## 【官庁統計シンポジウム】

「理論家と実務家による官庁統計シンポジウム」は、統計の理論家（学者等）と実務家（各府省及び地方公共団体並びに統計を利用する民間企業等の関係者）が一堂に会し、官庁統計を中心とする諸問題について討論するものです。

29回目を迎える今年度は、「社会の情報基盤としての統計の整備に向けて－公的統計の整備に関する基本計画の目指すもの－」（仮題）と題して、平成20年11月12日（水）13時～17時に、岡山コンベンションセンター（岡山県岡山市）において開催します。

昨今の統計行政を取り巻く状況の中で、最も大きい課題は、新統計法の制定を受けた基本計画の策定であり、統計委員会での基本計画に関する答申に向けた検討状況を周知するとともに意見交換等を行います。（総務省、岡山県、（財）全国統計協会連合会主催、入場無料）

## 【全国統計大会】

全国統計大会は、国、都道府県、市町村、統計調査員、統計グラフコンクール関係者、統計関係団体等の統計関係者が一堂に会して、我が国の統計の改善・発達に貢献した方に対する大内賞の授与のほか、統計功労者に対する各府省大臣表彰、統計グラフ全国コンクール特選受賞者に対する総務大臣特別賞の授与等を行うものです。

59回目である今年度は、平成20年11月13日（木）9時30分～12時30分、岡山市シンフォニーホール大ホール（岡山県岡山市）にて開催されます。（岡山県、岡山市及び（財）全国統計協会連合会主催、総務省等後援）

## 【地方公共団体等主催の行事】

（地方統計大会・統計功労者表彰式）

各地で地方統計大会や統計功労者表彰式が開催され、統計功労者及び統計グラフコンクール入選者等の表彰、講演会等が実施されます。

（統計グラフコンクール入選作品展示会）

各都道府県の統計グラフコンクール入選作品の展示会が開催されます。

（統計データフェア）

統計調査の仕組みや調査結果のパネル展示、パソコンを使った統計クイズ等を行う統計データフェアや統計教室が実施されます。

## 【平成20年度「統計の日」ポスター】

総務省政策統括官（統計基準担当）では、「統計の日」の周知を図り、統計への関心を深めてもらうため、「統計の日」のポスターを作成し、配布しています。今年度も約6万枚作成し、各府省の庁舎、都道府県庁及び市町村役場の庁舎等のほか、公民館等の公共施設で掲示していただきます。

ポスターに使用する標語は、毎年募集することとしており、平成20年度は、各府省、都道府県及び市区町村の職員並びに全国の統計調査員の方々からお寄せいただいた3,298作品の中から審査の結果、大阪府大阪市天王寺区役所職員 米澤 典子さんの作品「こつこつと 調べてわかる 日本の姿」を、ポスターに使用することに決定しました。

なお、「統計の日」のポスターのデザインやポスターに使用している標語は、各府省や地方公共団体において、統計や統計調査に係る知識の普及を目的とした広報物品、刊行物、封筒等にも幅広く使用される予定です。



平成20年度「統計の日」ポスター

# 「平成20年度統計指導者講習会」の開催

## 統計指導者講習会とは

総務省政策統括官（統計基準担当）では、児童・生徒が統計に親しみ、その大切さを理解できるようにするためには、まず指導者である教師が統計の役割とその重要性を理解し、その利活用方法を習得することが必要であるとの観点から、統計指導者講習会を平成3年度から開催しています。

## 平成20年度講習会の概要

今年度の統計指導者講習会は、7月24日（木）、25日（金）の2日間、総務省第2庁舎で開催し、全国から小・中学校及び高等学校の教師の方等78名が参加されました。

その概要は、次のとおりです。

### <7月24日（木）（第1日目）>

#### 1 基調講義：「日本の教育における統計教育の意義と学校での実践的展開」

（講師：鳴門教育大学特任教授 木村 捨雄 氏）

本講義では、統計教育の普及に長年取り組んでいる木村教授から、日本の児童・生徒の学力低下が問題となっている現在、「統計を使って考える力を伸ばす教育」の必要性・意義が高まっているというお話とともに、「見えるものを見る力」「見えないものを見る力」「築き上げる力・創り上げる力（独創力・創造力）」が重要であるという説明や、「新しい知の創造」社会における統計教育の実践的展開のための学習活動などについて説明が行われました。

#### 2 講義：「新しい算数・数学教育と統計教育」

（講師：国立教育政策研究所総合研究官 長崎 榮三 氏）

本講義では、新学習指導要領（平成20年3月告示）における算数・数学科における統計的内容が、それまでの学習指導要領から時間数や内容を増加させたことに関して説明が行われました。

#### 3 実践事例報告

受講者の方に実践的・具体的な知識の習得を図ってもらうため、小・中学校及び高等学校の現場の教師の方それぞれ1名ずつに、「実践事例報告」として、各人の統計教育に係る実体験をお話いただきました。

##### (1) 小学校実践事例報告（講師：さいたま市片柳小学校 教諭 橋本 安行 氏）

橋本先生からは、片柳小学校において、統計教育の実践方法として、算数の授業の「見やすく整理しよう」の指導例として報告があり、児童にアンケートをとって、集計結果を表やグラフにまとめて、そこから分かる事項を話し合うまでの進め方などについて説明がありました。

また、同様の実践方法として家庭科研究発表の計画の進め方の説明がありました。

##### (2) 中学校実践事例報告（講師：東京女学館中学校・高等学校 教諭 金見 正史 氏）

金見先生からは、総合的な学習の時間の中で、情報活用の実践力、統計的探求のプロセスを学習させるために、統計教育の実践として、「樹木の实地調査と収集データの読み取り」の授業を実施した体験をお話いただきました。

##### (3) 高等学校実践事例報告（講師：学校法人 茗溪学園高等学校 教諭 大貫 和則 氏）

大貫先生からは、高等学校情報科における統計リテラシー教育に関してお話がありました。

平成15年度から高等学校における普通教科「情報」が始まり、情報活用能力の育成を目指し様々な総合学習が実践されており、また、アンケート調査学習では、その指導方法により統計リテラシーをも育成可能であると説明がありました。

実際にアンケート調査学習のための授業計画について、19年度に実施した内容の説明がありました。

#### 4 班別討議

講義及び実践事例報告を踏まえ、全体を8班（1班9～10名）に分け、統計教育実践に当たっての課題と、解決方法、統計教育の効果的な実施例、統計教育の実践の上で工夫されていると考えられる点について、意見交換を実施しました。最後に、意見交換の感想について、数人の受講者の方から報告がありました。

### <7月25日（金）（第2日目）>

#### 5 講義

##### (1) 「我が国の公的統計制度」（講師：総務省政策統括官（統計基準担当）付統計企画管理官室 太田 地方統計専門官）

我が国の統計制度について、統計法改正の内容を交えて説明しました。

##### (2) 「政府統計の総合窓口（e-Stat）」（講師：総務省統計局統計情報システム課 久保最適化企画係長）

政府統計の総合窓口の概略及び統計データの検索等の操作について説明がありました。

##### (3) 「統計グラフを使った統計教育」（講師：総務省統計研修所特別講師 勝矢 重利 氏）

勝矢先生からは、統計表と統計グラフの関係、統計グラフの種類及び統計グラフコンクールに参加する場合に注意すべき点について、説明がありました。

## 平成20年度講習会を終えて

今回の講習会では、実際の教育現場で統計教育を実践していただけるようなカリキュラム編成を目指しました。受講者の方のアンケートを参考に、今後とも研修内容の充実を図っていきたいと考えています。

## 子ども霞が関見学デー参加行事 総務省本館に統計局ブース「めざせ！データ調べの達人」を開設！！

8月20・21日の両日、全国の小中学生を対象とした、子ども霞が関見学デーが実施され、総務省本館においては統計局ブースを開設、とうけいプラザにおいてはスタンプラリーに参加をしましたので、その概要を紹介します。

総務省統計局は、今年、総務省本館において統計局ブースを開設し、「目指せ！データ調べの達人」をテーマに、パソコンを使った「ゲームコーナー」（タイムスリップ・ショッピング、データDEタイプ診断）、統計広報用DVDの放映用「とうけいビデオライブラリー」、最新の調査結果を使った「統計データ展示」のプログラムを行い、そして国勢調査のイメージキャラクター「センサスくん」との記念撮影をするなど、「分かりやすく」を基本に「統計」を紹介し、両日合わせて、昨年の参加者を大幅に上回る約1,000名の参加がありました。

ゲームコーナーは人気が高く、何度もゲームに挑戦したり、子供が親にゲームを教えていたり、微笑ましい光景もありました。

センサスくんは見つけられると、すぐに子供たちに囲まれるなど人気者でした。

また、とうけいプラザでは、子ども見学デー「スタンプラリー」に参加しました。

両日、小中学生の参加希望者先着50名に「霞が関子ども旅券」も配布しました。



統計局ブースでスタンプラリーに参加する子供たち



ゲームを楽しむ子供たち



人気者のセンサスくん

参加者の皆さんには、このイベントにより、楽しみながら「統計」に触れていただく良い機会となったと思います。

統計局では、6度目のプログラムでしたが、事故もなく無事にプログラムを終えることができました。

御参加いただいた方々に心から御礼申し上げます。

\*当日の様子は、統計局ホームページ「なるほどデータ for きっず」に掲載されておりますので、

<http://www.stat.go.jp/kids/teacher/kodomo.htm> を御覧下さい。



## 中核市発とうけい通信 40

## 人々が集まり・人にやさしい・世界に通ずる元気なまち盛岡

## 盛岡市市長公室企画調整課

## ○盛岡市のプロフィール

盛岡市は、岩手県の内陸部、北上盆地の北部に位置し、西部には岩手山を擁する奥羽山脈、東部には姫神山を擁する北上高地に囲まれ、市街地には北上川など幾筋もの川が流れる水と緑に恵まれた街です。東北新幹線、秋田新幹線、東北自動車道の結節点として、北東北の交流拠点となっています。

1597（慶長2）年、南部家26代信直公が、盛岡城の築城を開始したといわれていますが、以来、400年を超える歴史と伝統に育まれ、近代的な都市機能を調和させながら岩手県の県都として発展してきました。第三次産業従事者が80.9%（平成17年国勢調査）を占め、商業、サービス業が中心の街ですが、南部鉄器や染め物などの伝統工芸は、藩政時代から今も受け継がれています。

2006年1月には玉山村と合併し、人口30万746人（平成17年国勢調査）、面積886.47km<sup>2</sup>となり、今年4月1日に「自立した都市」の創造を目指して、中核市に移行、新たな一歩を踏み出しました。多くの市民により築かれてきた財産と個性を生かしながら「元気なまち盛岡」の実現に取り組んでいます。



北上川と岩手山

## ○世界一の太鼓祭り

みちのくの夏祭りの先陣を切って毎年8月1日から「盛岡さんさ踊り」が開催されます。さんさ踊りは藩政時代から受け継がれる踊りで、盛岡の各地区には多くの伝統さんさ踊りが伝わっています。総勢3万人余が参加するパレードや輪踊りは勇壮、エネルギーで迫力満点です。

昨年、30周年を記念し、プレイベントとして和太鼓の演奏数世界一に挑戦し、2,571個のギネス世界記録を達成、太鼓の祭り世界一へと飛躍しました。



盛岡さんさ踊り

## ○北上川ゴムボート川下り

盛岡の夏の風物詩「盛岡・北上川ゴムボート川下り大会」は、毎年全国から1,000艇を超える参加がある日本最大級の大会です。街の中心を流れる清流北上川で行われ、森を思わせる景色で始まり、岩が露出した急流を下り、岩手山を望みながらビルの間を進み、家族や友人の待つ河原にゴールする、変化に富んだ川下りで、盛岡の「水の恵み」を実感することができます。約8キロメートルを下るタイムレースですが、川からの美しい景色を楽しみながらゆったり下るフリーレース部門や見た目が勝負のパフォーマンス部門もあります。



北上川ゴムボート川下り大会

## ○家計簿からみた盛岡

盛岡は、知る人ぞ知る「麺のまち」です。わんこそば・盛岡冷麺・じゃじゃ麺の盛岡三大麺は、今や全国に知られるようになりました。家計調査の品目別データによる都道府県庁所在市別ランキング平成17～19年平均では、「中華めん」の購入数量・支出金額は1位。「つゆ・たれ」の支出金額も1位で、ここにも盛岡人の麺好きが表れています。

ほかに「豆腐」の購入数量も、1988年から2007年まで日本一（2001年を除く）で、1世帯当たり年間100丁ほどの豆腐を食べている計算になります。

盛岡で作られる豆腐は、良質の大豆と水の良さにより、おいしい豆腐づくりが支えられています。

## ○朝市サミット

10月17日～19日、「第13回全国朝市サミット2008 in もりおか」が開催されます。北海道から熊本まで全国の朝市が盛岡に大集合します。ぜひ、お越しください。

# 最近の数字

		人口		労働・賃金			生産	家計 (二人以上の世帯)		物価			
		総人口 (推計人口)	就業者数	完全失業率 (季調済)	現金給与総額 (規模30人 以上)	鉱工業生産 指数 (季調済)	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数		国内企業 物価指数		
		千人(Pは万人)	万人	%	円	H12=100	円	円	円	全 国	東京都区部	H17=100	
実数	H20.3	127678	6336	3.8	321,390	106.5	312,565	379,393	101.0	100.5	106.7		
	4	P 12773	6429	4.0	314,347	106.3	310,695	381,365	100.9	100.8	107.5		
	5	P 12769	6478	4.0	310,063	109.3	288,128	338,573	101.7	101.3	108.8		
	6	P 12771	6451	4.1	578,170	106.9	281,951	594,393	102.2	101.6	109.8		
	7	P 12772	6406	4.0	P441,529	P107.9	298,366	483,915	102.4	101.5	P112.0		
	8	P 12774	...	...	...	...	...	...	...	P101.6	...		
			%	ポイント	%	%	%	%	%	%	%		
前年同月比	H20.3	—	-0.2	*	-0.1	1.9	*	-3.4	-1.6	-1.0	1.2	0.6	3.9
	4	—	-0.2	*	0.2	0.8	*	-0.2	-2.7	-5.4	0.8	0.6	3.9
	5	—	-0.3	*	0.0	1.0	*	-2.8	-3.2	0.2	1.3	0.9	4.8
	6	—	-0.6	*	0.1	0.8	*	-2.2	-1.8	-4.3	2.0	1.5	5.7
	7	—	-0.8	*	-0.1	P0.3	*	P0.9	-0.5	-3.9	2.3	1.6	7.1

注) P:速報値 \* :前月比  
家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値



## 統計局・政策統括官(統計基準担当)・統計研修所の主要行事日程(2008年9月~10月)

時 期	行 事 等 の 概 要	時 期	行 事 等 の 概 要
9月1日	統計研修 特別講座「統計調査基礎課程」(9月期 通信研修)開始(～22日)	10月31日	労働力調査(平成20年9月分(基本集計)及び平成20年7～9月期平均(基本集計))公表
2日	家計消費状況調査(支出関連項目:平成20年7月分速報)公表	〃	家計調査(二人以上の世帯:平成20年9月分速報)公表
4日	統計研修 本科開講(～12月9日)	〃	家計調査(貯蓄・負債編:平成20年4～6月期平均)公表
8日	第13回統計委員会・第15回基本計画部会開催	〃	消費者物価指数(全国:平成20年9月分,東京都区部:平成20年10月中旬速報値)公表
9日	家計調査(家計消費指数:平成20年7月分)公表	〃	小売物価統計調査(全国:平成20年9月分,東京都区部:平成20年10月)公表
〃	家計消費状況調査(支出関連項目:平成20年7月分確報)公表	下旬	平成17年国勢調査(抽出詳細集計結果:都道府県編)公表
18日	総合統計データ月報(9月更新分)	この記事を引用する場合には、下記にあらかじめ御連絡ください。	
〃	統計研修 特別講座「統計調査基礎課程」(9月期 スクーリング)開始(～19日)		
19日	第16回基本計画部会開催		
22日	推計人口(平成20年4月1日現在確定値及び平成20年9月1日現在概算値)公表		
24日	「PSI月報(9月)」刊行		
26日	消費者物価指数(全国:平成20年8月分,東京都区部:平成20年9月中旬速報値)公表		
〃	小売物価統計調査(全国:平成20年8月分,東京都区部:平成20年9月)公表		
29日	住民基本台帳人口移動報告(平成20年8月分)公表		
〃	統計研修 専科「PCを用いた統計分析」開講(～10月3日)		
30日	労働力調査(平成20年8月分(基本集計))公表		
〃	家計調査(二人以上の世帯:平成20年8月分速報)公表		
下旬	平成17年国勢調査(抽出詳細集計結果:都道府県編)公表		
〃	平成18年事業所・企業統計調査に関する地域メッシュ統計(世界測地系)公表		
10月1日	平成20年住宅・土地統計調査の実施		
〃	統計研修 特別講座「統計調査基礎課程」(10月期 通信研修)開始(～22日)		
3日	家計消費状況調査(支出関連項目:平成20年8月分速報)公表		
6日	第17回基本計画部会開催		
9日	「PSI年報 2009」刊行		
10日	家計調査(家計消費指数:平成20年8月分速報)公表		
〃	家計消費状況調査(支出関連項目:平成20年8月分確報)公表		
11日	統計データ・グラフフェア開催(新宿駅西口広場)(～13日)		
20日	統計研修 特別講座「中堅職員課程」開講(～23日)		
〃	第14回統計委員会・第18回基本計画部会開催		
21日	推計人口(平成20年5月1日現在確定値及び平成20年10月1日現在概算値)公表		
22日	総合統計データ月報(10月更新分)		
27日	住民基本台帳人口移動報告(平成20年9月分)公表		
〃	「PSI月報(10月)」刊行		
〃	統計研修 専科「PCを用いた統計入門」(秋季)開講(～31日)		

**編集発行 総務省統計局**  
 〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1  
 総務省統計局総務課広報担当  
 TEL 03-5273-1120  
 FAX 03-5273-1180  
 E-mail g-kouhou@soumu.go.jp  
 ホームページアドレス <http://www.stat.go.jp/>  
 御意見・御感想をお待ちしております。